

RAP 基礎 A.B 授業デザイン (第 2 回) ガイダンス：未来創造アクションプログラム基礎とは②

日 時： 4 月 2 4 日 (木) 5 限

使用教室： 1 年教室

使用教材： ワークシート 2 枚、資料、黒ファイル、筆記用具

授業者： 副担任、学年付

目 標： なんのために、どのように「RAP 基礎」を学ぶのかを知る～南高の PPDAC サイクルについて～

	学習活動（発問・活動等）	教師の支援（・）、指導上の留意点（◎）
導入 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1. 黒ファイル、プリントの配布 2. 本時の目標の確認 3. 授業の流れ確認 <ol style="list-style-type: none"> 1. RAP基礎1年間の流れ 2. 南高の探究サイクルについて 3. PPDACサイクル入門① 	<ul style="list-style-type: none"> ・最初に黒ファイルを配布し、65期・氏名を書かせてください。その後、プリント配布（ワークシート、資料） ・パワーポイントのスライドを活用し、説明する
展開 40分	<ol style="list-style-type: none"> 1-1. 1年間のRAPの流れを確認する 1-2. まずは、昨年度のスライドを見て、活動のイメージを持たせる 2-1. PPDACサイクルを使って、課題研究を進めることを確認する 3-1. PPDACサイクルで行うことを伝える。 3-2. マインドマップを使い、P（課題設定）を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・個人探究→グループ探究→未来創造ミニ成果報告会 ・FWの様子及び成果発表会でのポスターセッションでの様子を見せる ・配布資料を使いながら説明すると良い。PPDACサイクルの具体例を見せながら、理解させる。但し、南高では、アンケートやインタビューといった小さいデータではなく、すでにある大きな統計データを用いて、探究活動を目指す。 ・5、6月に情報を調べ、7月にミニポスターで発表を行うこと、今年はキャンバで作成することを伝える。 ・ポスター作成時にはPPDACを意識したものを作るよう言う。 ・マインドマップとはどのようなものか説明する ・マインドマップの演習は、4つのキーワードまたは自分で考えたキーワードのどれかから始めさせる ・時間があまれば、興味あるワードでさらにマインドマップを作成させたり、他のキーワードでマインドマップの作成を促す
まとめ 5分	<ol style="list-style-type: none"> 1. まとめとふり返り 本時の授業について、振り返りを各自でまとめる。また、授業の自己評価を記入させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次回は、5月1日（木） ただし、時間割が解体となるため日程が変わる可能性があることを伝えておく。